

[江別市] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 03 商業の振興

主管課 商工労働課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<p>人口の減少傾向が続く中、65歳以上の構成比は22.2%（平成22年10月1日現在）で過去最高となり、消費動向は大きく変化している。</p> <p>また、平成20年度のリーマンショックによる消費動向の冷え込み・デフレ傾向も回復基調にはあるものの、中小企業D.I.は北海道・東北地域、中でも小売・サービス業の落ち込みが大きかったことから、本格的な回復には至っていない。</p>	<p>長期的な売り上げ減少が続く中、市内商店街事業者の支援が課題となっている。また、大規模小売店舗の撤退や地域商店街等の廃業に伴う振興策が課題となっている。</p>

施策の目的

地域の特性を踏まえた個性的で魅力的な商店街づくりを補助・支援することで、市民が楽しく買い物ができるようにし、にぎわいのあるまちづくりを行い、商店街等中小小売商業の販売額の維持を目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

商業者、商店街（振興組合等）

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

江別市全体の商業者の販売額を増加させる。
地元に着した商店街の売上が増加する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
小売業販売額	億円	920	843	838		920
中小小売業（従業員5名未満）の販売額割合	%	11.4	-	-		11.4

施策の達成状況 (22年度)

札幌市の大型小売店販売動向によると、全店ベース、既存店ベース共に減少傾向が続いているが、品目別では飲食料品販売額が前年を上回るなど、一部で持ち直しの動きもみられる。（平成22年度の実績値算出にあたっては、平成21年度実績値に北海道経済産業局・北海道大型小売店販売動向前年比 0.56%を乗じている。）

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,825,751	1,487,587	1,467,306
事業費(千円)	1,787,579	1,438,018	1,418,834
人件費(千円)	38,172	49,569	48,472

01 商店経営の充実

基本事業の目的

店舗の改善や設備の近代化を進め、経営基盤を強化し、品揃えや品質などの魅力を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

経営基盤を強化させ、品揃えなどの魅力を高める。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
店舗改善・経営改革した卸・小売者数 【初期値(H19) 前期4年間 3件(累計)】	件(累計)	-	5	6		7

基本事業の達成状況 (22年度)

江別市商工業設備資金の活用により市内小売業者への資金調達を支援するとともに、該当店舗においては事業拡大と個別消費者ニーズを踏まえた売り場改善を図っている。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,649,657	1,301,409	1,277,731
事業費(千円)	1,640,115	1,292,140	1,268,362
人件費(千円)	9,542	9,269	9,369

02 商店街の活性化

基本事業の目的

消費者にとって便利で魅力のある地域密着型の商店街づくりを進め、日常、地元の商店街で買物をする人の満足度を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商店街(振興組合等)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

商店街としての販売額を増やす。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
日常的に商店街を利用する市民割合	%	45.3	41.1	-		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

販売形態については、ネットスーパーや個別宅配など多様化が進んでおり、今まで以上に店舗への来店を誘引する機会づくりが求められる。こうしたことから、商店街が行う集客イベントへの助成等を行い、客数増を支援している。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	143,968	143,177	144,623
事業費(千円)	132,350	131,893	134,032
人件費(千円)	11,618	11,284	10,591

基本事業の目的

市民や商業者が協働して観光や地産地消の市内イベントを開催し、賑わいを創出・維持し、活性化を促進します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、商業者、観光客

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

観光・市内イベントによって賑わいや訪れる場があり賑わいが創出される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
観光入り込み者数	人	981,752	793,987	749,221		1,100,000

基本事業の達成状況 (22年度)

観光入り込み者数自体は減少しているものの、今後も食の展開と連動した「グリーンツーリズム」等、提案型・体験型の観光客呼び込みを図り、より印象に残る地域提案・PRを図っていく。また、食を軸とした観光誘客事業等により、広く集客が見込まれる「北海道の観光と物産展」での地域産品の振興など、道外での周知も行っており、入り込み客数の増加を目指している。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	15,819	17,222	17,826
事業費(千円)	8,350	7,550	7,644
人件費(千円)	7,469	9,672	10,182

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			